

## 令和6年7-9月期調査 「経営上の問題点を解決するための要望など」

### 【製造業】

- 回答なし。

### 【建設業】

- 回答なし。

### 【卸売業】

- 人口減少、高齢化、空き家の増加。

### 【小売業】

- 定額減税は事務負担が若干ある。また、消費意欲の上昇とはならず、効果は薄いのではないかと感じる。まだ地域商品券（プレミアム）の方が、直接的に消費につながると思う。
- 県、市よりお買物券の発行等、小売の活性化。
- 自社のカバーできる地域での公共、大手の事業（建設）が大きく減少して、昨年と比較すると、明らかな受注の減少となっています。

### 【サービス業】

- 回答なし。

令和6年7-9月期調査 「質問1の業況（自社）の背景について、貴社が感じておられることをご記入下さい。」

【製造業】

- 回答なし。

【建設業】

- 工事の依頼はあるが、人手不足で受注できない！

【卸売業】

- 売り上げは業者の減により減少しているのに、「働き方改革」で営業時間の短縮や続いての最低賃金の引き上げで、小企業は厳しい面になっている。

【小売業】

- 他社の撤退によるものなので、一時的な好転であり、あまり手放しで喜べるものではないと感じている。

【サービス業】

- 事業主の借入れが困難なケースがよくある。物価上昇のため、予算と建設コストに大差があり、受注はするも、現実化するケースが減ってきた。
- 自分達の年齢でついていけなくなったと感じる事すべて残念。





